

すわこ文化村第五四回企画

ナヌムの家



キム・スドウ作品「咲ききれなかった花」

沖縄一九年前、一一歳少女が米兵三名の餌食にされ、怒りが島を揺るがした。そのとき元イアンフが言った、「沖縄の少女は本当につらい思いをした。でも、私たちは毎日が沖縄の少女の生活だった。そのことを分かってほしい」。
あなたは、この言葉をどう受け止めますか。



訴えるハルモニたち

監督/ピョン・ヨンジュ
1996年公開作品
上映時間/98分

2015 **1月18日** (日)
午前10:00・午後1:30・午後5:00 (3回上映)

ミニレクチャー 20分 (毛利)

「1996年高校での講演・沖縄からイアンフを見た(ダジェスト)」

諏訪湖ハイツ コンベンションホール(中3階)

参加費・1000円 (30歳未満高校生まで500円)

ソウル市内鎮路区の一軒家に元従軍慰安婦の女性たち6名が、仏教団体の支援を受けて共同生活をしている。人々はこの家を「ナヌムの家」(分かち合いの家という意味)と呼んでいる。本作品は、この「ナヌムの家」に暮らすハルモニ(おばあさんという意味)たちが、炊事洗濯をし、デモに出かけ、おしゃべりをしながら互いに支えあう日常生活を記録し、映し出す。この映画は韓国女性が初めて「従軍慰安婦=日本軍性奴隷」と取り組んだ作品であり、ドキュメンタリー映画としては、韓国映画史上初めて商業映画館で公開され、驚異的な観客を動員し話題となった。

お問い合わせ → 080-1040-7463 (すわこ文化村)